

地域における支え合いのために

～研修活動の充実に向けた取り組み～

新琴似西地区福祉のまち推進センター 事務局長 貴戸 和彦

新琴似西地区は平成 29 年 10 月時点での 65 歳以上の高齢化率が区内で 1 番高く 32.6%です。更に高齢者世帯が増え続けることも考え、私たちの福まちでは支え合いにより安心して暮らし続けることができるまちづくり（孤立死防止・見守り・安否確認・災害等における要援護体制づくり等の地域サポートネットの創設）に向けた取り組みを強化することを目標に 30 年度の活動を推進してきました。また、活動を進めるに当たっては研修・調査・広報・夢サロン 4 部の活動の充実を目指して力点として以下の 2 点を掲げてきました。

1. 『地域における支え合いのために』を年間共通課題として掲げ、研修活動の充実に向けていく。今年度は福まち推進委員の更新年でもあり、引き続き会長にも出席をお願いし（基本研修）（実践報告）（研修講義）（寸劇より学ぶ）という形で各福祉研修会にテーマを持たせながら連続した 4 回の研修の積み上げを図る。交流では各町内会の実情を互いに出し合い、研さんを深め合っていく。
2. 福まち推進センターと新琴似西地区社協及び関係機関との連携を一層密にして情報連携及び行動連携を強め、『ネットワーク』『フットワーク』『チームワーク』を意識して年間を通しての見通しある運営推進に当たっていく。……以下、今年度の研修活動の充実に向けた取り組みに絞り込んで紹介いたします。

【第 1 回福祉研修会】＜基本研修＞7/23(月)

支え合いのために part1

北区社協の職員の方を講師に、地域における福祉活動推進のために基本となるテーマについて研修しました。研修では◎高齢者への日常生活支援について→地域住民の日常的支え合いが必要→見守りや訪問活動の推進を図る。◎個人情報の取扱い

について→高齢者の実態把握が必要→市の 65 歳以上世帯名簿の活用→65 歳以上世帯名簿取扱研修の開催◎福祉マップと見守り記録の作成→高齢者（見守り対象者）の住所等の情報が必要→福祉マップの作成→見守り・訪問活動記録簿の作成◎各関係機関との連携強化に努める。困ったことは迷わずに相談して解決への支援や助言をいただく。そのためには町内会の中でも各関係機関との日常的な連絡や連携を意識して取り組んでいく。このことが福祉活動の活性化につながっていく。

この研修では新琴似西地区社協及び関係機関との連携が見守りをしている個々の福祉支援対象者への関わりとして極めて大切であることなどを再確認しました。



【第 2 回福祉研修会】＜実践報告＞8/27(月) 支え合いのために part2

第 1 回研修会の復習として北区社協の職員の方から「見守り活動のポイントについて」の講話があり、続いて 2 つの町内会から福祉に関する取り組みの事例報告がありました。

◎「今日から明日へ」〈新光町内会 貴戸和彦〉

様々な町内会の行事への勧誘を兼ねた年 4 回の見守り訪問→訪問時の細かな気配りや温かな声掛け→相談事等への肯定的な受け止めに配慮→訪問記録や関係機関との連携も重視して日常的支援と信頼関係づくりに努めている。



◎「専門機関との連携」〈双葉第七町内会 遠藤龍彦〉

◆地域における支え合いのために

高齢夫婦世帯への町内会福祉部の対応状況→高齢者の周囲に迷惑をかけたくないという心情を十分に理解し、関係機関の情報をもとにして連携した取り組みを重ねて信頼関係を築き、当事者の問題解決につなげていくことができた。



【第3回福祉研修会】<研修講義>10/1(月)

支え合いのために part3

『今日的な危機から身を守るために』をテーマに北区第3地域包括支援センターの職員の方から「特殊詐欺を防ぐには」との講話があり、増加している地震関連の詐欺やオレオレ詐欺・還付金詐欺・架空請求詐欺などの手口と防止策などを学びました。続いて「安心・安全のための備え」と題して北区社協の事務局次長の講話から北海道胆振東部地震による被害状況や日常の地震への備えとして大切なこと、災害を防ぐための自助・共助・公助の取り組みについて学びました。時期的にも関心の高い内容のために大変参考になりました。

【第4回福祉研修会】<寸劇より学ぶ>11/12(月)

支え合いのために part4

『共に生きがい求めて』をテーマに高齢者への日常生活支援についての講話があり、続いて福まち事務局員と関係機関の方々による寸劇披露がありました。北区社協生活支援コーディネーター作成の3部作の脚本『支え合いの明日へ向けて』は力作でした。全て高齢者への生活支援や生きがいに関する内容を取り上げたもので、地域における支え合いについて考えさせられました。何とか完成させた寸劇も好評を博し、後のグループでの交流も盛り上がり、高齢者の相互支援として大切なことやできそうなこと、これから心がけていきたいことなどを互いに意見交流しました。また提出されたアンケートにも、個々に可能なことから支え合いたいとの建設的な回答がたくさんありました。

まさにお互いさまの心掛けで「共に働き掛け合

う」ことこそがこれからの共生社会を創っていく上でのポイントであることを参会者一同痛感する機会となりました。



【今日から明日へ】

『地域における支え合いのために』を年間共通課題として掲げて取り組んできた研修活動は参会者の一人一人の心に訴えかけ、気づきや活動を喚起してきたものと信じています。しかし、それぞれの単位町内会に持ち帰っての実践化となると身近な課題も山積しています。まずできることから一步一步が基本です。「安心・安全で互いに支え合う福祉の充実した元気で災害にも強いまちづくり」を目指して今後も信頼と連携を強化して福まち活動の推進を図っていききたいものです。

新琴似西まちづくりセンターの山縣浩子所長より「まちづくりセンター所長は、【地区福祉活動支援担当課長】というもう一つの職を兼務しています。地域住民の方々・福祉の関係機関・行政がより一体となってきめ細かい活動ができるよう、つなぎ役をするのが私の仕事です。」との力強い言葉と全面的な支援をいただいています。今後も『ネットワーク』『フットワーク』『チームワーク』を常に心掛けつつ前進していこうと思います。

○お問い合わせ

新琴似西まちづくりセンター

TEL. 011-762-8767

新琴似西地区福祉のまち推進センター

TEL. 011-762-9790